



vol.116



・会長挨拶 .....	2
・H27年度Y E G活動報告 .....	3
・特集 新入会員がYEGでやりたいこと…11	
・卒業生の言葉 .....	12
・卒業生 特別企画 .....	16
・27年度委員長コメント .....	17
・28年度会長抱負／委員長挨拶 .....	19
・組織図 .....	21
・新入会員紹介 .....	22
・あじさい会通信／結婚・おめでた／ 西木田通信 .....	24

福居 

# Your Growing , Our Future

## (一人の成長が私たちの未来をつくる)



福井商工会議所青年部  
平成 27 年度会長  
森 下 峰 雪

### ～「ひと」とまじわり成長し、地域と共に進化する～

このスローガンの下、一年間メンバーの皆様と活動に取り組みたかったのは、人と人、人と組織、組織と組織がまじわりを持ち、その中から新しい気づきを得てそれぞれが成長を成し遂げていく。個の成長こそが組織を、地域を、事業を進化させる大きな第一歩であるという考えからでした。

活動の原点には、郷土愛醸成の更なる広がりをはじめとする地域社会への貢献と商工業の発展に繋がるための活動目的があり、今年度も数多くの事業が行われてきました。

ビジネスの力で地域活性に繋げようという考えから取り組んできた「ふくい会社チカラ取材班」では、我々が知らない新しい取組を実践している福井の企業を実際に訪れ体感し、様々な実践事例から気づきを得て持ち帰り実践することを掲げ、福井で活躍されている若きリーダーを尋ねました。近年、社会的必要性を求められているキャリア教育事業では、単会にとどまらず県連をも巻き込み、福井県全体でキャリア教育に取り組む足がかりにもなった事業が行われたと感じます。まちづくりにおいては、まちカフェ事業を通して市内各地域の課題を地域の皆様と一緒に考え、成功事例から学ぶことや、各地域共通の課題を解決するための糸口を探りました。また、共通の課題を持ちつつも、各地域毎に抱えるそれぞれの課題を知るきっかけにもなった事業でした。

もちろん、組織も進化していかなければなりません。交流という楽しめる要素の中から多くの方々に福井 YEG の魅力をお伝えし、会員の拡大にも取り組んでまいりました。北陸新幹線福井駅開業にむけて地域社会への意識啓発にも、交流という側面を大切にしながら市民の皆様と一緒に活動に取り組めたと感じています。ただ、様々な活動を行ってまいりましたが、組織内を調整し会務を遂行する縁の下の力持ちがいるということは忘れてはなりません。今年度は、会員の皆様と共にでかけた大会等、例年遂行される会務の他に YEG ジャンパー制作や会長記章制作など他にも多くの事が遂行されてきました。

そして、大きな夢に向かって歩みかけた年度でもありました。メンバー皆様と真剣に考え、真剣に議論しあえたことは私にとって最高の時間でありました。夢への道半ばで途中下車ともなりましたがそこから見えてくる景色も大切なものです。そして、そこで立ち止まることなくまた前に進んでいきましょう。

今年度、いろいろな事業が行われてきましたがメンバーの皆様がいてこそ構築されてきた事業です。本当にメンバーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。皆様のお力添えがなければ、最後まで走り抜けることはできなかった一年間。お支えいただき心から感謝しています。素晴らしい平成 27 年度を送らせていただきありがとうございました。

そして…福井 YEG は続きます。

平成 28 年度、この素晴らしい組織をさらに発展させ、「ひと」とのまじわりから生まれた「個」の成長を、山岸会長の下、新たな「挑戦」に向かって存分に発揮していきましょう！



### 第30回 ふくい春まつり 参画事業

4月5日(土)・6日(日) 福井城址において昨年度の誇り溢れる地域づくり委員会(柴田委員長)と今年度郷土・愛する委員会(勝見委員長)合同の「お堀のワークシヨップ」「誇り溢れる地域を感じるまち歩き」を開催しました。

両日ともに事前に申し込みをされた参加者のみなさん、当日受付をされた参加者のみなさん共にまち歩きを満喫されておりました。桜が満開の中、事前予約コースは桜開花基準木、村中甘泉堂(桜餅のおみやげあり)、柴田神社にて語り部の方のガイドを聞き、チーズちゃん(チーズ専門店)等をめぐりました。午後の当日受付のコースでは、天たつにて汐雲丹の試食、堤防の桜、グリフィス像等をめぐりました。当日受付のミニまち歩きコースでは筑波大学の教授が参加され、佐々木副会長がガイドを担当しました。県外の方も参加され福井の魅力十分に伝えることが出来ました。

山里口御門復元工事のため水の抜かれたお堀での「お堀のワークシヨップ」に関しては、4日約700名、5日は雨のため約200名の参加がありました。語り部さんによるお堀の歴史紹介コーナーでは、みなさん興味深く説明を聞いておりました。笏谷石を知る体験コーナーでは、笏谷石で作るペーパーウェイト作りが行われ、みなさん真剣に作成していました。桜のペン作りコーナーでは、用意していた桜の枝がなくなるほど大盛況で、みなさんとても喜んでいました。

4日は天候にも恵まれ桜も満開の中、多数の参加者がお来場、満開5日は天候に恵まれず、参加者がやや少なめでしたが、安全管理を徹底しケガ人がでず無事に終了できました。また改めて福井の誇りである福井城址のお堀、桜、それらを伝える事の大切さをすごく感じた2日間でした。



### 平成27年度4月定期総会

4月15日(水) 18:30より、福井商工会議所国際ホールにて平成27年度4月定期総会が開催されました。

森下会長は、「平成27年度のスローガンである『Your Growing Our Future 一人の成長が私たちの未来をつくる』「ひと」とまじわり成長し、地域と共に進化する」を今年のYEGでは、しっかりと実践していきたいと宣言した。

とりわけ、重要なキーワードとしては、「ひと」、「まじわり」、「成長」となるので、これだけは覚えていて欲しいと述べた。

平成26年度菊会長の退任の挨拶では、森下会長への自信の思いを伝え、1年間直前としてアドバイスをしながら森下会長を支えていきたいとの挨拶をいただきました。菊会長1年間、本当にお疲れ様でした。その後、会員一同より森下会長に代表として花束、記念品贈呈が行われました。



### 4月度例会

4月15日(水) 20:00から4月度例会「会員拡大に狼煙をあげる！」が商工会議所ビル地下国際ホールにて開催されました。

定期総会に引き続き、県連役員の宇野会長、河野専務理事にも参加して頂きました。

福井YEGにとって会員の拡大というのは一人一人が真剣に考えなければいけない問題です。決して他人事ではないことに気付いてほしい。この一年間、会員を拡大するという意識を持ちながら、各事業に取り組んでいてもらいたいという目的で、この例会を開催いたしました。

委員長の熱い思いを会員に伝えて、それぞれの委員会に分かれて、活発なディスカッションをしていただきました。

20分というとても短い時間でのディスカッションでしたが、各委員会ともしっかりと意見を出し合っていました。そこで出た意見を各委員長に発表して頂きました。

今回の例会で話合った意見をまとめ、今後の会員拡大につなげていきたいと考えております。多くの会員の皆様に例会に参加して頂き、しっかりと会員拡大の意識を持って頂けたと思っております。参加された会員の皆様ありがとうございました。



活動報告

県連代議員総会

5月16日(土) 平成27年度福井県商工会議所青年部連合会(以下、県連と省略させていただきます)代議員総会が敦賀商工会議所で開催されました。

議案審議では平成26年度事業報告、収支決算、平成27年度事業計画(案)、収支予算(案)、収支予算(案)が上程され、議案すべて可決承認され佐飛康史年度から『つなげよう未来へ』ポジティブに!そしてアクティブに!』をスローガンとして掲げた宇野精浩年度へバトンタッチされました。

代議員総会が無事に終了し続きまして研修会です。研修会第一部では、大本山永平寺、大本山總持寺の御昆布司を務める株式会社奥井海生堂代表取締役社長、並びに敦賀商工会議所副会長である奥井隆様より「社業を通じて見える敦賀の立ち位置」を題として

昆布の奥深い魅力や意外と知らない「うま味」をご説明いただき、近年の和食ブームからの海外展開や東京都中央区日本橋への出店などアグレッシブな経営活動の内容を分かり易く拝聴させていただきました。

研修会第二部では、敦賀商工会議所の議員である打它将(うた まさる)様により「新開発商品の完成への道のりと青年経済人としての信条」を題に、打它社長が苦勞の末完成させたPBブランド・昆布リキュール日本酒「澁曳(みおひき)」の体験を話していただきました。

総会、研修会が終わり次は和やかなムードでの交流懇親会。会場を敦賀ヨーロッパ軒本店に移し行われました。まず乾杯では研修会で講演いただきました打它将様のPBブランド・昆布リキュール「澁曳(みおひき)」を食前酒として頂戴させていただきました。日本酒に爽やかな昆布のうま味がする、とても上品で飲みやすいお酒でした。

そして料理は食べきれないばかりのしゃぶしゃぶ鍋やカツ丼が用意され大変美味しくお腹いっぱいの内容でした。



5月度例会  
「キャリア教育×アントレ・キッズ」

5月27日(水) 19:00から5月度例会(深化・進化、みんなの成長でキャリア教育の未来へ)が、福井商工会議所ビル 地下1階 コンベンションホールにてキャリア教育推進委員会担当のもと開催されました。

我々YEGが行っているアントレ・キッズとこれからのキャリア教育をどうマッチングさせていくのか、その方向性と認識を統一していただこうという例会でした。

そもそもアントレ・キッズって?という新入会員も多くなり、また会員全体の足並みを揃える意味でも今一度、アントレ・キッズとはどういうものをわかりやすく説明するために、当委員会の村上副委員長のプレゼンをみていただきました。その後、まずアントレ・キッズがどのように誕生し、どのような歴史を積んできたのかを、創始者でもある清川先輩と福井県で唯一のキャリア教育コーディネータでもある菊直前会長から、吉村委員長がコーディネータを務めお話を伺いました。

続いては、アントレ・キッズ4業種4社(サービス業、士業、製造業、科学)のデモンストラーションを行いました。

福井YEG会員全員で福井のキャリア教育を考え、とても素晴らしい例会を開催できたと思います。



6月度例会  
「実践的ビジネスマナーを学ぶ」

6月24日(水) 国際ホールにてビジネス活性化委員会として初担当の6月度例会「実践的ビジネスマナーを学ぶ」が開催されました。

今回のテーマは、ビジネスをするうえで、まずなにより、ビジネスマナーが大事ではないかという委員会の思いを形にした例会となりました。講師に「ことは理」のマナーアドバイザーである榎谷真澄先生をお招きし、マナーとは何か?マナーとビジネスマナーとは何か?という基本的な話を聞きました。

次に、当委員会のメンバーで、4つのパターンの実践で使えるビジネスマナーのビデオを見ていただき、飛び込み営業時のビジネスマナーと上司を顧客へ紹介する時など、ビジネスマナーを自分が正しいと思う方法で実践していただき、榎谷先生にどこが良かったかどこを気をつけたほうがいいのかを教えてくださいました。

名刺交換やいすの座り方など、基本的なビジネスマナーはもちろん一歩進んだビジネスマナーを学んでいただくことが出来たのではないかと思います。ビジネスマナーとは相手を思いやり、気遣うことが大事であるということが学んでいただけたのではないかと思います。当ビジネス活性化委員会が最初に示した3本の柱を実践する為のベースになる例会になったのではないかと思います。



### アントレ・キッズ in 木田小学校

7月1日(水)に木田小学校にてアントレ・キッズが開催されました。木田小学校は、昨年に引き続き、二年連続でのアントレ・キッズ実施です。

参加された講師は8社で、ほとんどの講師がアントレ・キッズの経験があり、仕事の大切さや働くことの意義、さらには働く大人のかっこよさを存分にお話しして頂き、当日はレベルの高い授業が展開されておりました。

子ども達の反応はそれぞれではありますが、集中して授業に取り組んでくれました。短い時間ではありませんが、実際の仕事を体験でき、これまでに体験したこととの無い素晴らしい時間を過ごせたと思います。

今回のアントレ・キッズでの経験が木田小学校の子ども達に、何か一つでも気づきを与えることができ、彼らの将来において、多少なりともプラスに働いてくれることを願います。

### 7月度例会 YEG 交流会

7月11日(土) 7月度例会 YEG 交流会が鯖江勤労感謝野外活動施設内にて鯖江 YEG 主管で開催されました。

開催地テーマ「五感を癒し、心を酌みかわそう」でした。

第1部は、憩いのグループヨガを行いました。お二人のインストラクターの指導の下全員でグループヨガを楽しみました。実際ヨガに入ると、皆さんの顔から徐々に笑顔が消えていき、苦痛に満ちた顔で汗が冷



や汗なのか分からない汗をかき、一生懸命にがんばってヨガを満喫していました。

第2部は、憩いのアロマキャンドル作りを行ないました。講師の方により、アロマキャンドルについての説明をしていただき、各グループに分かれ鯖江 YEG さん担当メンバー中心に作りました。各自の個性が垣間見れた企画で、数種類の色の蠟を重ねきれいなグラデーションを表現している方もいました。

第3部は、懇親会(BBQ)でした。森下会長の挨拶から始まり、鯖江 YEG 憩いの交流委員会メンバーが焼いていた肉を鯖江 YEG さんと交流をしながらおいしくいただきました。

### 福井城址お堀の灯り参画事業

7月18日(土)に福井城址周辺で開催された「福井城址お堀の灯り」に参画しました。この事業は、福井城築城以来の往時を偲ぶとともに空襲や震災で亡くなった人々を鎮魂し、まちづくりの推進を目指す市民ぐるみの事業で今年で5回目を迎えます。過去の開催でも当青年部は、準備作業や当日運営における人員派遣等の協力を行ってきました。当日は台風の影響もあり朝から雨が降っていましたが、昼からは快晴となり天候に恵まれました。

今回は内堀公園にて『お堀の灯り語り部』の設置で、地元住民の方に語り部役をお願いし、地域住民をはじめとした来場者に、実体験に基づいた空襲当時の様子をお話ししていただきました。

その他、事前に地域の子どもたちに戦災体験の話を聞いていただき、思った事や感じた事を絵に描いて、屏風という形で展示しました。子どもたちには過去の事を理解し、現在の平和に感謝

する心を育ててほしい思いでこのような形で展示を行いました。今回、当青年部が参画したことで地域のまちづくり事業の拡充に寄与することができ、また準備を含めた活動の中で地域住民や他団体との交わり・交流を持つ事ができました。

### 福井フェニックスまつり参画事業

8月1日(土)に開催された「第62回福井フェニックスまつり」に、当青年部の自主企画運営で参加しました。

昨年に引き続き、子どもが参加できるまつりを目指して「子どもみこし」改め「子どもパレード」を企画。市内幼稚園・保育園等にご参加していただき、12基の子どもみこしを繰り出し、約150名の可愛い子どもたちがみこしを担ぎました。神輿を担ぐのが初めての園児もおられました。元氣一杯の姿を見せてくれました。福井市で一番大きな祭りに参加し、普段歩けない所をパレードし、夏休み中に楽しい思い出が出来たのではないのでしょうか。

また大人が担ぐ商工神輿にも青年部メンバーが企画の合間をぬって約40名参加しました。参加したメンバーの中には肩が赤くなった方もおりましたが、いい汗をかく事が出来ました。

佐桂廻社様境内をお借りし、食のブース、遊びのブース、ステージ企画を開催しました。食のブースでは福井の恵みピザを販売しました。青年部メンバーによってオリジナルのピザ窯を作成しました。子どもたちは具材を選ぶとき真剣に選んで、おいしそうに食べていました。

遊びのブースでは竹の水鉄砲で遊ぶ(景品付き)を行いました。竹の水鉄砲で遊んだ事のない園児もいて戸惑っている姿も見られましたが、的が倒れると喜んでいました。ステージ企画では、啓蒙子ども太鼓、藤島高校ジャグリング部、仁愛大学ダンス部に方々が大変暑い中元氣一杯に発表をしていました。

今回の子どもパレードの企画は、参加した子供たちに楽しい思い出を作ってもらい、故郷福井を知るきつ



活動報告

かけ作りや、愛する気持ちを持って欲しいとの思いで開催しました。  
佐桂酒社様境内での企画も含め、色々な方と交わりを持ち今回の事業を行えた事は福井フェニックス祭り、青年部の進化に繋がったのではないのでしょうか！これからも市民に愛される祭りに貢献していきたいと思えます。

えきまえアントレ・キッズ

8月22日(土)に今年で8回目を迎える「えきまえアントレ・キッズ」を開催いたしました。

まちづくり福井株式会社様主催、福井商工会議所青年部共催による、福井駅前周辺の実店舗において、小学校5・6年生の児童たちに就業体験を通じて、働く意義を知り、仕事への夢をもってもらい、また中心市街地への親しみと新たな発見を目的とした事業です。  
今年も、過去最大規模の企業店舗数40店舗、親子数約200組が参加しました。そして、昨年に引き続き学生さんのボランティアスタッフを募集し、25名もの方に参加・協力いただきました。

当日は、開校式からのスタート。受付への誘導など、青年部メンバーのサポートのもと、ボランティアスタッフが活躍してくれました。とても積極的な協力・行動に感動してしまいました。開校式では、挨拶などのマナーを学び、各体験場所へと移動します。各体験先店舗では、たくさん笑顔が見られ、体験終了後は、認定証を授与。最初は緊張していた児童たちが、お仕事の話を真剣に聞き、楽しく笑顔で体験している姿は、とても嬉しいものでした。今年も、トラブルも無く成功で終わることができ、「参加してよかった」「また来年も来たい」といったお声を多数頂きました。



このえきまえアントレ・キッズの開催に何度も打ち合わせを重ね尽力して頂いた、まちづくり福井さんと参加企業店舗の方々。当日の運営を支えて頂いた学生ボランティアの皆さんと福井YEGメンバー。そして、当日に至るまでたくさん議論を重ね、準備に奔走してくれた当YEGのキャリア教育推進委員会のメンバーの皆様のご尽力に、心より感謝いたします。ありがとうございました！

新入会員オリエンテーション

9月16日(水)19時から福井商工会議所地下国際ホールにおいて、平成27年度福井YEG新入会員オリエンテーションを開催しました。今年も、新入会員12名、既存のYEGメンバー39名の合計51名の方に参加いただき、盛大に開催することができました。

第一部としてYEGがどのような団体なのかという点と、福井YEGの各委員会がどんな思いを持って事業をしているのかなどをお伝えいたしました。

第二部は、新入会員がYEGでやりたいことを既存会員と一緒に考えるというグループワークを行いました。

ここでは、新入会員のほうからも、積極的に発言が出てきたため、非常に盛り上がりました。今回のオリエンテーションを通じて、新入会員の皆様がYEG活動の意義や面白さを理解し、より積極的にYEGに参加するきっかけ作りになったと思います。



9月度交流オープン例会

9月26日(土)に9月度交流オープン例会「Let's one☆」が福井織協ビルにて開催されました。今回の例会はYEG会員だけの交流ではなく、ゲスト(一般参加者)と一緒にあって、より広く、より深く交流していこうという想いを持ちながら、企画の段階から進めてきました。

拡大・成長委員会に所属する新入会員のメンバーが中心となって企画・運営を行いました。  
第一部では、「エコキャップアート」の製作を行いました。YEG会員がいろんな方々に声掛けして集めたペットボトルのキャップの数、なんと7万個!! その中で必要な色のキャップを集め、6420個で北陸新幹線を描きました。

第二部では大懇親会が行われました。  
福井YEGにちなみだクイズでゲストの方々にはYEGの事を知っていただいたり、「Y(わ)E(い)G(え)G(じ)作文」をテーブル毎に考える企画だったり、みんなが交流できる楽しい懇親会となりました。多くの方々と「交わり」が生まれた今回の例会でした。笑顔溢れる有意義な時間を過ごせたことが、一番の収穫だったのでないでしょうか。

この例会に参加して頂いたゲストの方々には心から感謝いたします。ありがとうございました。  
そしてエコキャップ収集に協力してくれた、YEG会員、さらには福井県連のYEGの皆様、そして福井市民の皆様、本当にありがとうございました。

最後にこの例会に愛と情熱を注いでくれた拡大・成長委員会メンバーの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



### 10月度事業 まち歩きの日

10月4日(日)、10月10日(土)晴天の中10月度事業「歩く福井 まち歩きの日」を開催しました。今回は4コース、まずは福井市中心部での「福井レトロ エキマエ編」は3グループに分かれて、福井駅前の古写真をお題として、そこに写された今も残る面影を手掛かりに写真の撮られた場所を探し出し、同じアングルの写真を撮り集めてもらいました。

「えちぜん鉄道に乗ってサイコロの旅」はえちぜん鉄道の福井市内の駅にてサイコロを振ってめぐり、クエストを解きながら地域の魅力に触れていただきました。「電車が好きだから参加した」など参加動機は様々ですが、普段なかなか歩かない地域を歩き、新たな発見があったのではないのでしょうか。

「福井にある技術を訪ねるまち歩き」は物づくりの現場を巡り、職人の技術と情熱に触れ、唯一無二の印鑑を作るという内容で開催されました。1日目は印鑑の篆刻作業、革工房銭屋様の見学がありました。

2日目は問屋団地を巡りながらの紹介、問屋団地にありますヤマウチマツテクス様での会社見学、印鑑革ケース作成の前には、現在、円山公民館の館長、そしてヤマウチマツテクス会長でもある山内様よりもの作りへの情熱を話していただきました。

「おんなのまち歩き」は夕暮れから夜にかけて、足羽神社から片町までの道のりを歴史や文化に触れながら着物を着てそぞろ歩く内容で行われました。女性が



女性のために企画した女性限定のコースです。まずは足羽神社にてお点前体験、愛宕坂での灯りの回廊見学、グリフィス館見学、匠きし様にてお食事、片町のシルクハウス様にてママとの懇談会がありました。たくさんの方々に伝えていくことが改めて必要だと感じた2日間でした。

### 近畿ブロック和歌山大会

10月17日〜18日近畿ブロック和歌山大会に参加いたしました。早朝よりのご参加ありがとうございました。和歌山ビッグホエールにて、記念式典が盛大に開催されました。全国各地からYEG会員1500名が参加されました。

大懇親会ではテツ&トモが飛び入り参加で盛り上げていただきました。

懇親会後の二次会では鯖江YEGと合同で懇親会をしました。料理もおいしく、雰囲気の良いお店でした。和歌山YEGの方のお店との事でした。

2日目と歌山市内観光後、和歌山マリナーシティでバーベキュー(昼食)をいただきました。お天気もよくなのんびり過ごせたと思います。



### 10月度ビジネスオープン例会 「宣伝力UP 講演会」

10月28日(水)に「宣伝力UP講演会」(一乗谷デイスカバリープロジェクト)に学ぶ宣伝力を開催しました。

講師に安野敏彦氏(福井市商工労働部 観光アドバイザー)、副田高行氏(副田デザイン制作所 アートディレクター)をお招きし、200名以上の方に参加いただきました。

冒頭、一乗谷デイスカバリープロジェクトをご紹介をいただき、一乗谷の魅力に発信されたプロセスを知ることができました。葉加瀬太郎さん作曲・演奏による「悠久の一乗谷」が初公開され、素晴らしい音楽はもちろん、心を打つ映像に涙を流される方もおられたほど。キャッチコピーや映像の工夫だけで感動を与える力を体感しました。

そして、参加者からの質問「ポスターの構図をどう考えて制作されていますか?」に対し、副田さんがデザインされた本講演会のポスターが登場。誰もがメッセージ性を感じる国内トップレベルのデザインには喝采の拍手が出るほど。シンプルに伝えることの大切さを目のあたりにしました。講師お二人からの「宣伝を見ればその企業の姿勢と社内状況がわかる」、「広告は社会を変える力を持っている」とのお話が強く印象に残り、皆様にも宣伝の重要性を再認識いただけたことと思います。

今回の講演会をきっかけに皆様の宣伝力が進化し、ビジネスや地域がさらに活性化されることを願います。早ければ2020年にも北陸新幹線福井駅が開業します。宣伝力を活かし、来福される方々に我が福井



活動報告

を皆でアピールできればと考えます。  
 開会待ち時間中には一乗谷ディスプレイプロジェクトのパネル展示を行い、一乗谷の美しい風景をお楽しみいただきました。ホール内ではYEG活動を紹介するスライド上映も試み、一般参加者様にYEGへ興味・関心を持っていただけたら大変ありがたいと存じます。

アントレ・キッズ in 啓蒙小学校

11月11日(水)に啓蒙小学校にてアントレ・キッズが開催されました。啓蒙小学校でのアントレ・キッズは、YEG会員の山田祐司君が同校のPTAであり、本人の熱い希望から実施に至った経緯があります。

参加された講師は6社ですが、その半数である3社が初めてのアントレ・キッズでした。アントレ・キッズ初体験の方々は、やはり相応に緊張されているようであり、子ども達の前で上手く話ができるのか、子ども達に言いたいことが伝わるのか、色々と不安もあつたと思いますが、授業後は興奮した様子で授業の感想を述べられるなど、相応の充実感を得たものと思えます。何よりも、アントレ・キッズに至るまでに自分の仕事について熱慮し、何を伝えるべきか考え、行動し、それを5年生から6年生の子ども達の前で話をする、という過程は、普段の仕事では得られない経験です。この経験は、仕事をしていく上でも有意義なものであることは間違いありません。

授業を受けた子ども達は、とても楽しそうに授業を受けており、将来の夢や仕事像について思いを巡らせてくれたのではないかと思います。アントレ・キッズでの経験により、啓蒙小学校の子ども達も、福井にある仕事を知り、将来の職業選択に多少なりとも資することがあれば幸いです。



第33回全国会長研修会まえばし会議

平成27年11月12日(木)～14日(土)の3日間、群馬県前橋市において「日本商工会議所青年部第33回全国会長研修会まえばし会議」が開催され、全国からの平成28年度会長予定者400名を始め、平成27年度会長、事務局、並びに熱意を持った会員が集まり、大いに盛り上がりました。

まず、平成28年度日本YEG会長予定者岡村寅嗣氏の所信表明のあと、分科会に別れて各会場へ。私は平成28年度会長予定者の集まる第1分科会へ。ここでは、「YEGが自己成長と信頼を生み、次(地)世代を支える力となる!」というテーマの元に、グループディスカッション形式や講演会方式で、会議を行いました。当初は初めての参加で戸惑っていた私でしたが、全国から集まった次年度会長予定者と色々な話や情報交換をすることに、同じ悩みを持った人がこんな面白い事を知り、逆に非常に心強く感じました。また、引き続きの懇親会ではおいしい料理と、おいしいお酒を堪能し、更に深い懇親を深めました。翌日は朝からBPC1次審査発表、基調講演と続き、午後1時に閉会を迎えました。

全国会長研修会に参加する前に、会長経験者から「全会研に出席すると色々な人と話ができるから、次年度の単会運営等についてまた新しい考えが生まれるよ。基本方針等の内容についてもがらっと変わるよ!!」神が降臨するよ!!」と言われましたが、当初、なかなか神は降臨して来ませんでした。しかし、全てのスケジュールが終わり、帰路に着く新幹線の中で2日間の出来事を思い返しているうちに、今までおぼろげであった頭の中身が少しずつ具体化すると共に、『本当に自分が28年度の会長なんだ』という実感が湧いてきました。全国大会やブロック大会とはまた違う雰囲気を持った全国会長研修会。この2日間は非常に有意義な時間を過ごすことができました。



ビジネス活性化委員会 新規事業 ぶくいの会社チカラ取材班

福井商工会議所青年部として、地域活性化のためにビジネスの観点で、何か出来ないか——ここから始まった我々の新たな事業が、「ぶくいの会社チカラ取材班」です。

11月19日に株式会社オールコネット様、12月2日に株式会社ヤスブン様を福井YEGメンバーで訪れ、顧客満足・従業員満足・業務効率化などへの実践的な取り組み事例を取材と称し学んで来ました。

株式会社オールコネット様では、古市副社長より、あるべき姿をいかに可視化するかの、従業員に対する部活動推進による満足度向上への実践事例など具体的に学ぶことが出来ました。また、企業が成長を続ける秘訣として、常に社員が気持ちよく競争できる環境を作ることが経営者にとって重要な役割であるとお考えと、その事例も教えて頂きました。

株式会社ヤスブン様では、末定社長より、社員とベクトルを揃えることの重要性を大変熱く語って頂き、社員としてというより一人の人間としての在り方を問うフィロソフィー勉強会を継続して実践していることなどを教えて頂きました。

参加者自らが「体験」し、それぞれの観点で「気づき」を得て、自社に持ち帰り「実践する」。

これにより、福井全体の会社チカラが向上し、新たな魅力溢れる地域活性化の原動力につながればと強く願っております。



### 11月度例会「ハーバード流交渉術を学ぶ」

11月25日(水)に国際ホールにて、「ハーバード流交渉術を学ぶ」より良い交渉は営業を楽しくする」を開催しました。

講師には福井YEGの大先輩でいらっしやる、株式会社いやさか代表取締役の高原裕一先生をお招きし、難しいような「ハーバード流交渉術」の基本を分かりやすく教えて頂きました。

前段では、先生の豊富な経験談を交えて、交渉の場面でお互いがWIN-WINの関係になるためのポイントをお話いただきました。ハーバード流交渉術では、いかに相手から多くの情報を引き出し真の価値に迫れるか、創造性を発揮しより良い選択肢を創れるかがポイントとなることでした。

また、具体的事例をお示しいただき「人間は否定的である」「人は知らない人に対しては攻撃的だ」など人間の行動の特徴は、人と交わり信頼関係を作っていくうえでとても勉強になりました。

後段は、前段で学んだハーバード流交渉術のポイントを意識して、売り手と買い手に分かれて仮定した場面で実際にペアで交渉してもらおうロールプレイをしました。

お互いにそれぞれの制約条件がある中で、最後には両者ともに笑顔で握手できる交渉を実践しました。どのような条件で交渉がまとまったかは各ペアいろんな結末があり、実にユニークで斬新な発想もありました。お互い納得できる選択肢が作れたペアもたくさんあったようです。

今回の研修のゴールは、明日から営業が楽しくなること、今回学んだことを営業に活かすことが楽しみになることでした。今までの自分の交渉スタイルから変化が起きていることを期待し、またこの内容が会員の商売にお役立て頂くことを願っております。



### 12月度家族例会

12月6日(土)にDining bar ラフにて家族例会が開催されました。YEG会員プラスその家族合わせて90名が参加され、盛大に行われました。今回の家族例会は2部制になっており、一部ではお正月にちなんだワークショップ(餅つき体験、判子作り、凧作り、水ようかん作り、門松作り、羽子板作り)を行いました。最近では昔ほどお正月文化に触れてない子供たちが多いので、この機会に正月についてしっかりと考えて頂けたかと思えます。

二部ではガラッと雰囲気を変えてクリスマス感たっぷりの、家族懇親会を行いました。ピングゲームをしたり、森下会長がサンタになり、子供達にプレゼント渡すなど、子供達の笑顔いっぱい懇親会になりました。

我々がYEG活動を行っているのも、愛する家族の支えがあつてのものです。家族の理解がなければ、活動できません。最後にはYEGメンバー全員が家族に対して「ありがとう」としっかりと伝えられたことがよかったかなと思えました。今後とも家族に支えられ、YEG活動を一生懸命行おうとともに、あらためて家族の大切さをかみしめた家族例会となりました。ご参加頂いたYEGメンバーとご家族の皆様が心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

### アントレ・キッズ in 麻生津小学校

12月10日(木)に麻生津小学校にてアントレ・キッズが開催されました。麻生津小学校でのアントレ・キッズは、同校の先生が、数年前に教師対象のアントレ・キッズを体験されたことがきっかけとなり是非実施したいとの希望を持ち、実施に至りました。

参加された講師は6社で、飲食からデザイン、保険業等、幅広い職種の皆様が講師を務められ、子ども達も初めて体験する職業が多かったのではないかと思います。初めての方は、試行錯誤して授業に挑んで頂きました。また、一度以上経験されている講師の方々も、前回行ったものよりさらにレベルアップした内容で授業を展開されておられました。

子ども達は、講師の用意した体験に、目を輝かせて取り組んでおり、45分という短い時間の中で、その仕事のエッセンスを体験しておりました。こういった経験ができるアントレ・キッズは素晴らしいという思いを改めて持ちました。

今回のアントレ・キッズでの経験が啓蒙小学校の子ども達に、一つでも気づきを与えることができ、普段の学校での過ごし方や授業の受け方を見直すきっかけとなり、子ども達の将来が少しでも良い方向に向かえば幸いです。

### 12月定期総会

12月16日(水)に福井商工会議所 国際ホールにて平成27年度12月定期総会が開催されました。会長挨拶に先立ち、宮本相談役から森下会長に対して、会長バッジの授与が行われました。

会長バッジはYEG会員からデザインを募集を行ない、投票によってデザインが決まりました。定期総会は今井副会長による議事進行の元、審議が執り行われました。

無事、基本方針の審議を終えた山岸会長予定者より、来年度に向けた熱いメッセージが述べられました。



活動報告

今までにない新たな風を次年度に向け予感させる、強い気持ちのこもった挨拶をされました。



キャリア教育事業

1月23日(土)福井市織協ビル8階にて、「キャリア教育事業」ひと・まじわり・進化、キャリア教育の未来への懸け橋」を開催いたしました。

福井YEGの事業に県内の他6単会を集めて、キャリア教育を共に学ぶという本事業。

最初の各単会の代表的な事業発表プレゼンと講評では、他の単会でこんな事業をしていたんだ!といった驚きや、事業の背景・内容・取組から、事業構成やキャリア教育との結びつきなど皆さんの気づきを得ることができました。

そして、生重先生による講演では、全国の事例などから、子供たちの学校における課題や、だからこそ我々青年経済人ができる学校教育と働くこととのつながりを意識したキャリア教育を学びました。

グループワークでは、福井YEGメンバーと他単会メンバーが同じテーブルで各々の仕事のきっかけや楽しさ、社会での役割、仕事と学校の勉強との関連性などを話し合い、キャリア教育の経験者から未経験者ま



で、たくさんの方に改めて気づきを得て頂けたかともいいます。本事業を通して、新たな気づきと共に単会の枠を超えた繋がりを感じる事が出来ました。キャリア教育を更に波及させていくためにも、先駆者である我々福井YEGが率先して福井県内YEGに働きかけ、次のステージへと進化していきます!!

1月度 オープン例会

1月27日(水)福井商工会議所地下国際ホールにて、郷土・愛する委員会が担当する「まちカフェ」地域

の魅力を活かしたまちづくりを開催しました。公民館関係者の方や各地域の若手の方お招きし、各地域の魅力を再確認、情報交換や課題点の解決方法を模索しました。

今回の例会はリラクセスした雰囲気づくりのため、青年部会員の服装は青年部ジャンパー、またコーヒやお菓子などを提供しての会場しつらえをさせていただきました。

まずは麻生津地区の「親月の夕実行委員会」の若手によるブロードウェイミュージカルの事例発表が行われました。内容の紹介はもちろんです、若い世代の方が地域活動に参加する魅力やきっかけなどを熱く語っていただきました。

その後は各地域のテーブルに分かれ、ワークショップを3回開催しました。今回のワークショップは「ワールドカフェ方式」を採用し1回目は各地域での現状や課題についてディスカッションを行い、2回目はランダムに席を移動し他テーブルの情報収集、3回目はまとめの時間とさせていただきます。



プ内容をお聞きしましたが、参加された方のご意見として「今後につながる情報が得られたし、地域でこんなに頑張っている若者がいるんだね。刺激を受けました」等のご意見をお聞きする事が出来ました。今回の例会をきっかけに各自が地域活動について再考する事や、地域活動に参加して、郷土愛を育むきっかけになるのではないのでしょうか。各テーブルの内容は統一フォーマットにまとめ、参加された皆様にお配りして今後の活動の参考にしていただきたいと思います。

臨時代議員総会・会員大会

平成27年度福井県商工会議所青年部連合会(以下、県連と略します)の臨時代議員総会が2月13日(土曜日)に武生商工会議所で開催されました。

この臨時代議員総会は通常でしたら平成28年度の県連役員承認を代議員に承認していただく場で終わるのですが、今回は何と平成32年の日本YEG主催全国大会に立候補するための主たる単会を決める大変重要な緊張する場となりました。

主たる単会として名乗りでたのは鯖江YEGと福井YEG。この2単会でプレゼン合戦を行いました。

森下峰雪会長と山岸範之次年度会長は何度も推敲を重ねたプレゼン内容をもって想いも十分な万全の態勢で臨みました。実際のプレゼンを見ていまして本当に熱い想いのこもった『何としても福井YEGがやりたい!!!』と福井YEG会員全員の想いを背に乗せて全身全霊をこめた鬼気迫るプレゼンで、思わず鳥肌が立ち引き込まれ涙がでてきました。

投票の結果は結果として受け止め、万事尽くした感があり納得した結果でした。といっても全国大会は福井県連が主管で福井県内の7単会がまともならなくてはやり遂げることはできませんので今までの県連会長が築きあげられた『深く固い絆』を大切に一致団結して



向っていきます。

臨時代議員総会が終了し次は会員大会です。会員大会では式典、研修会、懇親会の3部に分かれ行われました。

研修会では『ビジネスゲーム研修T H E 商社』でビジネススキル向上を考えられた講師、福井信英氏を招いての体験型ビジネスゲームを行いました。

大懇親会のオープニングでは武生伝統の菊傘踊りを華やかに披露していただき、主管地会長の塩田憲康会長の御挨拶をされ、宇野精浩会長の乾杯の御発声ですタートしました。

会場には何故か中央にリングらしきものが設置されており、有定君の迷レフリーのもと腕相撲大会があったりしました。とても面白い内容で有定君の決断に感心しました(笑)。

この日のために会議を重ねていただきました武生Y E G の皆様、ありがとうございました！お疲れ様でした！

### 第35回全国大会 吉備の国 おかやま大会

2月19日(金)〜20日(土)の日程で岡山県岡山市で開催された日本商工会議所青年部 第35回全国大会吉備の国 おかやま大会に参加しました。

19日(金)の分科会、大懇親会、20日(土)の記念式典、記念講演、記念事業と主管された岡山県連の皆さんの企画運営を愉しませていただき多くの学びをいただきました。また全国より集まったメンバーと交流することができました。

福井Y E G の登録数は25名と、本場に多数の皆様にご参加いただきました。

日帰りで参加された方も多く、移動距離も長いいため、



皆様お疲れだったと思います。

記念事業(卒業式)で、宮本相談役、山口副委員長にご登壇していただき、特別ゲストの中村あゆみのライブとともに、お見送りが出来たのは感動的でした。

ちなみに、来年の全国大会は北海道の岩見沢で開催されます。

来年もみんなで参加できたらと思っております。

### 2月度例会

2月24日(水) 国際ホールにてビジネス活性化委員会として最後の2月度例会「ビジネス活性化ファイナル」が開催されました。

今年度、ビジネス活性化委員会では、「営業力・宣伝力UP」の目線で、会員の資質向上と地域活性化！をスローガンとして事業を行ってきました。この例会はその集大成の例会として、8名の福井Y E G のメンバーの方に事前にワークシートを記入いただき自己分析してもらい、グループワークでは他己分析・課題ニーズの発見してもらい、それを基にプレゼンを再構成し、より良い発信を出来るように意見交換をしてもらいました。

自分ではわからなかった自社の強みや、こうする事でもっと良くなるのでは？などの活発な意見が出て、プレゼンされた方も「強みをさらに生かすにはどうすればいいか」、「これからの自社の方向性などを改めて再確認出来た」や中々プレゼンする機会がないので、いい機会だったなどの意見をいただきました。ビジネス活性化委員会の集大成の例会になったのではないかと思います。

### 特集

新入会員が、YEG でやりたいこと・期待していること。

### 新入会員 オリエンテーション

平成27年9月16日に行った新入会員オリエンテーションのグループワークで、新入会員からY E G でやりたいこと・期待していることのアイデアを沢山出していただいたので、一部を紹介いたします。

■冬事業として、市民参加型の冬祭りを開催し、カニ祭りをしてい。

■ギネスへの挑戦をする。

■福井県連で、同業種の集まりを作りたい。

■例会で中国研修事業を行ってほしい。

■今は食べなくなった郷土料理の再現をしたい。

■全国Y E G サッカー大会を福井で実施したい。

■大サッカー大会の実施。パブルサッカーやフットサル等を受け、男女混合競技を行ない、婚活につなげる。

■教育環境や食べ物、アウトドアなど、福井県外の人に福井の魅力を発信するようなイベントの開催がしたい。

■エンジェルタッチのプロフィールを充実。顔写真を載せてほしい

■シニア世代と高校生・大学生をつなげていくよう事業を開催したい。



卒業生の言葉

内田 康紀



4年前に入会させていたいただきまして、あつという間に卒業となりました。

入会当初、何か私に出来る事はないだろうかと思いついたのを覚えております。

4年と言う短い間でしたがここにはいつも縁があり、ここにはいつでも話せる機会があり、ここには仲間と時間の共有が沢山ありました。

しかしながら迷惑ばかり掛けて何も出来ずに卒業となり心苦しいですが皆さんにお会い出来た事、様々な経験が出来た事、本当に感謝しております。

皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

小林 満只



入会から5年、えっもう？そんな気がしています。

短い時間ではありましたが、この間YEGで多くの楽しい思い出と友達を作らせていただくことが出来ました。

いろいろ記憶にありますが入会時の自己紹介、あの日は本当にホッとした日でした。また近プロの時、岡山君にドレスコードを騙された事件、岡山君あれは笑えなかったよ。髪を金髪にしての神輿も楽しかったです。

現役メンバーの皆様、大変お世話になりました。青年らしく、頭であまり難しく考えすぎず、これから自分たちが楽しみながら地域の為チャレンジし続けたい。

会社も自宅も鯖江にあり、地元では裏切者(笑)と言われている、そんな私を快く迎え入れてくれたこの福井YEGにとっても感謝しています。これからは、ホルモン焼きの白樺の皆様をお迎えます(笑) 5年間お世話になり、ありがとうございます。

末本 正樹



私は平成22年40歳で福井YEGに入会し、1年延長させて頂き、6年間お世話になりました。入会のきっかけを振り返ると、福井

JCを卒業したばかりで、仕事に集中出来ると思っていた矢先、景山直恵先輩の「もう1カ月のんびりとしたし、さみしいでしょ」のお言葉で軽い気持ちで入会させて頂きました。今では貴重な経験をさせて頂いた先輩への感謝の気持ちが溢れて止まりません。

活動の中でも一番の思い出は「会員大会ふくい大会」です。委員会活動とは別の実行委員会活動。掛け持ちは大変でしたが、この1年間はすごく充実した年でした。懇親会企画部長を任せ付かり、当初はどう盛り上げようか必死でした。現役メンバーにも急遽参加して頂いたNPOのイッチョロイ。福井YEGの女子メンバーで結成され、今では伝説となりつつあるAKB4。夜ごと行われた某先輩の自宅でのレッスンは鬼コーチの熱血指導が印象的でした。メンバー全員が本気だったからこそ、成功した大会でした。福井YEGの「絆」「魂」を感じ、私自身も成長出来たと思っています。

福井YEGのますますの発展と、皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。この6年間で出会えた多くの仲間との友情、経験を財産とし、今後の人生に役立たせてまいります。ありがとうございます。

園 真和



福井YEGに平成24年度に入会させて頂き約3年、福井YEGの皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

元々このような団体に入会した経験がありませんでしたが、福井YEGの皆様には親切丁寧に交流や指導して頂いたことを思い出します。本当に有難うございました。

福井YEGではボランティア精神と、本業と青年部活動を両立しなければならぬチカラと更に能力と活動範囲を広げられることを学ばせて頂きました。最後になりますが、福井YEGと皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。有難うございました。

中村まゆみ



YEGに入会させて頂き早4年が経ち、無事卒業の日を迎えられることを嬉しく思っております。振り返れば、たくさんの楽しい思い出があります。

入会して最初の年は駅前アントレキッズに参加させて頂き、自分の職業を子どもたちに伝えることの難しさを実感しました。経験豊富なメンバーの方々に多くの助言を頂いたおかげで、当日は私自身楽しむことが出来ました。また、趣向を凝らした家族例会も心に残っています。特に、昨年度の大運動会も小学5年生の息子と一緒に参加しましたが、息子はとても楽しかったようです。「YEGに僕も入りたい」と言っています。10年後、彼の気持ちが変わっていないければ、どうぞよろしくお願ひ致します。

最後に、YEGの皆様、いつも温かく接して下さいありがとうございます。皆さんの優しさと学びを頂きました。この福井で何かお返しが出来ると、今後も自己研鑽に努めてまいります。ありがとうございます。

久野 真



皆様大変お世話になりました。楽しく充実した10年を過ごさせて頂きました。

とにかく会員の皆様に出会えたことに感謝しております。大してお酒も飲めず、面白い話も得意ではないこんな私ですが、仲良くしていただき本当にありがとうございます。皆様との交流や事業活動を共にさせて頂いた経験は仕事や私生活にも確実に活かされており、私にとってはかけがえのない財産となりました。YEGを続けてきて本当に良かったと実感しています。YEGの運営に関わられた全ての方々に感謝を申し上げます。

いつしかYEGは生活の一部になり、気付けばもう45才。4月から退くことがそのようでも名残惜しいですが、また皆様と一緒できる日を心待ちにしております。皆様の今後のご活躍を影ながら応援しております。若い力を存分に発揮され、福井YEGの更なる発展をご期待申し上げます！

卒業生の言葉



松岡 茂

福井YEGのみなさま、13年間たいへんお世話になりました。近年はなかなか参加できずご迷惑をおかけしました。平成19年に情報委員会の委員長をさせていただき、例会全員出席を願って会員全員の顔写真の出欠パネルを委員会で作ったのが一番の思い出です。全員出席すると村中会長のでっかい顔になるはずでしたが、その夢はかないませんでした。かわりに会報福居vol.1108で表紙に使っていただきました。楽しみにパネルを作っていました。せつかくYEGに入ったのだから、もっと楽しんでたくさん参加すればよかったと後悔しております。みなさん、卒業までYEGをぜひ楽しんで活動してください。きっとよい思い出になります。それから、一番好きな事業はアントレキッズでした。この事業にはとても夢がありますね。何度かお手伝いだけさせていただきましたが、子供の笑顔がすばらしいですね。お仕事は、本当は楽しいことなんだ、幸せなことなんだと子供たちから教わりました。福井YEGのますますの発展を願って卒業します。ありがとうございました。



松田 将裕

平成14年5月に入会して、平成28年3月が卒業月になりますので、13年11月間、福井YEGで活動したことになります。私は、入会初年度(新入会員年度)を除き、13年連続で役員会に出席する立場に置かせていただきました。そのことは、私の「小さな誇り」となっています。最近「もし私が、福井YEGに入会していなかったらどうなっていたらどうか?」と考えることがあります。福井YEGに対し、これと言った功績を残すことはできませんでしたが、私自身がつまらない人生を送っていたのではないかと考えています。やはり、多種多様な職種の会員と共に議論し、そして酒を酌み交わし「多くの友」を得たことが私にとっての「収穫」ではなかったと考えています。みなさんが福井YEG活動に求めるものは様々だとは思いますが、卒業後も続く「一生の友」を得ることは、大変重要なことではないかと考えています。



見谷 英邦

福井YEG会員全員が、卒業年度まで活動され、福井YEG会員で良かったと思えるような期間でありましたことを心より折念申し上げ、私の最後の言葉とさせていただきます。

約6年間福井YEGでお世話になりました。お世話になった先輩方、仲良くして頂いた会員の皆様本当にありがとうございました。楽しい時期は頑張っておられたり、1年間ほど全く活動しなかったりとご迷惑をおかけした事も多々ありました。申し訳ございません。

入会間もなく結婚した事もあり、当時の委員会メンバー・会員の方に祝って頂き、公私ともどもたくさんの方のご厚意で充実した6年間になりました。同世代という事で、プライベートな悩み事・ご相談にものって頂きYEG会員の情熱に刺激されたりと、幾分成長させて頂きました。

若い世代の方も頑張っておられる姿を見ると、もっと早く入会できたらよかったです。これからも福井YEGがたくさんの人材を成長させて、地域に貢献できる団体である事を期待しております。



武曾 栄治

私が入会させていただいたのは2011年1月で、その1ヶ月後には全国大会みやぎ・仙台大会に参加したことを思い出します。なぜその時かと言うと、1ヶ月後には東日本大震災が起き、その当時の会場が津波で悲惨な姿に変わり果てた映像を目の辺りにしたからです。あれから5年、私も約5年間YEGに在籍させていただきました。いろいろな勉強も出来、たくさんの方々との出会いもあり、短い期間ではありましたが、凄く有意義のある時間を過ごさせていただいたと思っております。

当初、メンバーのほとんどの方は会社経営されており、私は会社の一社員として入会しましたので、話が合うかどうか、付き合いが出来るかがすごく不安でしたが、メンバーの方は気さくな方ばかりで普通に接することが出来よかったです。あといろいろな会社経営の話なども聞いている面で大変



鷺田 裕之

勉強になりました。YEGを卒業しますが、今後とも皆様よろしくお願いたします。最後は定番の言葉になりますが、福井YEGの今後ますますのご発展と、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

入会して約13年皆様と長期にわたりお付き合いさせて頂きました。当初は皆さんの存在に圧倒されたのを覚えています。なかなか溶け込めないなあと感じながらも、活動を通して少しずつ楽しくなってきたのはつい最近のことです。活動の中での出会いを含め、なかなか経験出来ない事をさせて頂いたことは良い思い出です。今日の社会問題から地域の問題、更にはもっと小さな事柄まで真剣にそして知恵を出し合い、どう乗り越えていこうか意見を出し合い行動し、自分もその一員になれたことがとてもうれしかったです。今後皆様ますますの活躍をお祈り申し上げます。皆さんありがとうございます。



山口 広征

私のYEG活動での一番の思い出は、なんといっても35周年事業でしょう。

私も入会してそんなに経っていません。なかつたのに実行委員長になり、新入会員の委員会で事業を行うという、無謀な職務を任せられました。経験豊富な副委員長長達と毎晩のように話し合い、飲みに行き、新入会員を少しづつ巻き込んでいきました。その時に作り発表したYEG宣言「誇りが溢れるまちづくり」が元になって、まち歩き事業が生まれました。

これは更に、昨年度に福井県連より発表された「未来ビジョン宣言」も郷土愛の醸成にも繋がっていて、今後の広がりや波及が期待されています。

卒業生のことば／卒業生特別企画

他にもいろいろな事業を経験させていただきました。そのひとつひとつに思いがあり意味があり歴史があり思い出があります。どんな事でも全力でぶつかれば自分にとってマイナスはありません。気が付かないうちに自己研鑽が出来ています。

私自身もYEG活動で本当にたくさんの方を学び、そして成長させて頂きました。

たくさんの仲間を支えられ、楽しく活動出来た事。そして苦楽を共にした一生の仲間が大勢いる事が大きな財産です。今後は福井YEGの卒業生である事を誇りに、OBとして少しでも恩返ししていきたいと思えます。

最後に、福井YEGの益々の発展と皆さまのご活躍を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。



宮本 武

平成10年度に入会させて頂き、17年もの間大変お世話になりました。

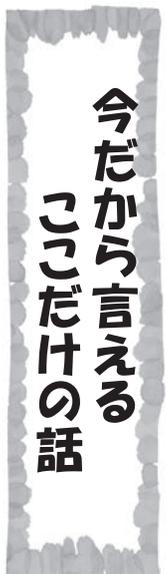
右も左も分からない20代の若輩者の私を温かくお迎え頂き、叱咤激励頂きながらご指導頂いた諸先輩方、そしてこのYEGと言う組織に、感謝と言う言葉以外にもありません。本当にありがとうございました。

平成15年度には全国会長研修会ふくい会議で副実行委員長という大役を拝命し、全国の皆様を福井にお招きする事ができ、また福井YEG全体を纏める役として、組織の動かし方纏め方を勉強させて頂きました。

平成23年度には会長というまたまた大役を拝命し、私なりのスローガンと基本方針の基、メンバー全員と共に福井を盛り上げる事ができた事、またキャリア教育アワードで大賞を頂き、更に福井を注目して頂くきっかけを頂いた事が私の中の大きな出来事でした。

YEGは失敗しても良い場所、自分を大きく成長させてくれる場所、無から有を生み出すゼロをイチに変える発想力と行動力を養ってくれる場所だと確信しています。

沢山の勉強をさせて頂き、沢山の仲間に出会い、本当に幸せな17年間でした。ここで得た物は今後も更に飛躍させYEGに感謝の気持ちを持って、ますます邁進していきたいと思えます。お世話になりました。ありがとうございます。



今だから言える  
ここだけの話

松田 将裕

私は、平成15年度～平成20年度まで6回連続で副委員長を任せていただきましたが、平成20年度の半ば頃までは、本来の卒業年度（満45歳の誕生日が属する年度）である平成23年度までの間のすべての年度において副委員長を拝命し「9年連続副委員長」の金字塔を打ち立てようと、本気で意気込んでおりました。

鷺田 裕之

YEG在籍13年間に1度貴重な委員長をさせて頂きました。その当時の委員会の事をお話をさせて頂きました。

ほぼ週2ペースで副委員と喫茶店で打合せ。目的から詳細内容まで細かく決める。

委員会では、決定した事項の報告をし、委員と内容精査は一切なし。

決定事項に向かって意思疎通をし、広報・役割・資料・問題点などに話集中。

内容ソコソコで資料・弁当にこだわる。そして必ずくだらない演出を付ける。

全く意味のないこの点に最大の力を注ぐ。委員会は必ず19時に始まり遅くとも21時までには退出する。

委員長が、委員会の会場予約・弁当予約をする。委員長は、委員会30分前に入室する。

空調・照明を全開にする。机のタテヨコ整理のブレを調整。

1机に付き、イスは2脚とする。イスは座りやすいよう少し引いて配置する。

再度、机イスのタテヨコのブレを微調整。弁当は基本、料理屋弁当を持たで800円以上。

別途お茶必須とする。続いて、卓上に弁当と資料のセッティング。

お茶は右、おしほり左、お箸は手前、奥に資料。この時、お箸の向き、お茶の絵柄に注意する。

机のヨコから見て、各弁当・箸・資料・お茶が一直線上に並んでいるか確認。

委員が来られたら、お席誘導。女性委員には椅子を引いて差し上げる。ここまでして上座は委員長が座る。この全くくだらない、全く意味のないような部分に委員長の最大の力を注ぐ。執行部と役員会では、副会長が泣き入れてMAXフォロイをし……。

役員会二次会はいきなりスナックで、会長の……もうアホです書けません、こんな委員会、みんな飲み会したり、温泉行ったり、朝までカラオケした事は良い思い出です。本当に楽しかった。

今後の例会担当委員の方は、弁当に必ず御飲物をつけてください。

山口 広征

総務委員会の小前田副委員長より電話があり、「今だから言える秘密の話」を是非！締め切りは3日後なんです。……と頼まれました。卒業が急に？決まり、急いで、卒業者の一言の原稿を書いたと思った矢先の出来事でしたが、かなり困っている様子だったので引き受けてしまいました。

原稿を書くために思い付いた事を箇条書きにしていると……これは言えない。これも微妙。これもその人に迷惑が掛かるかも。これは死んでも言えない等、YEGって以外に秘密が多い事に気が付きました。その中で言えそうな事を話します。

私がYEGに入会したのは実はある勘違いがもとでした。私は昔から仲が良く一緒に野球やキャンプをしていた友人から何回も誘われていました。親父の三回忌も終わり、そろそろ入ってもいいかなあと思っていた頃に別の集まり（法人会青年部）で松田氏やOBの村中氏と出会い、そこでも誘われたので数日後の例会に参加する事と入会する事を約束しました。

そして約束通り例会に参加し入会手続きをしました。友人が見当たらないので電話すると……もうおわかりですね。私の友人は青年会議所だったのです。わたしはそれまでそんないろいろな団体があることすら知りませんでした。友人には内緒でこっそり例会に行つて驚かしてやろうという気持ちが裏目に出たのです。もちろん、今となってはYEGに入つて良かった！間違つて良かったと実感しております。

他に、現YEGメンバーの妹と昔お付き合いしていた事とかOBの……それ以上は人権にかかわりますのでこの辺で勘弁してください。

卒業生のいい話

内田さんへ 天野 準一

平成24年秋に開催した交流会での内田さんのご活躍は今でも覚えています。

会議の時には少し斜めに構えながら、要所要所でキレのいいご意見を言われていていかにも経験豊富といった感じの内田さんでしたが、口だけではなかったですね！

当時9月度例会でドミノを使った交流会を企画していた時に作ってきたドミノの着ぐるみ。すごかったなあ。当時新入会員で唯一の女性という事で突然司会を任された中村さんを盛り上げるために作ったと後で聞き、ホント良いところあるなって思いました。

内田さんはいらただけで周りが明るくなるというか、ご性格なんですよが失敗しても失敗に見えないというか。福井で開催された福井県連大会の時に委員会でも式典を担当していたのですが肅々と進みあと少しという所で、『ピリピリピリ』と携帯電話の音が鳴り出しました。誰だ、と思ったら音響担当で後方にいた内田さんが必死で携帯電話を抑えているじゃないですか！大変申し訳ないのですが、あの時の一生懸命携帯電話を抑えている内田さんの顔を思い出すと、いまでも笑いがこみ上げてきます。それだけ必死に仕事をしていただいていたという事かと思えます。

そんな大好きな内田さんがご卒業というのも寂しい思いがします。

時間の経つのは早いですね。これからの益々のご活躍とご発展、そして周りの皆さんの笑顔の渦の中心にずっとずっとおられます事心よりお祈りしております。

小林満只くんへ 園 真和

彼の持っているコネクションは人並み以上で、どんな相談でもほぼ対応してくれます。

そして相談した人、相談された人がお互い共生できるようにすることも彼の人徳で、そこからまたコネクションを広げていきます。

物事の手際よさ、状況に応じた言葉選びもセンスよくこなしていきます。  
同性で間違えて電話をかけてしまった相手も「小林くんと同じ趣味を始めました」と言って話が盛り上がってしまうところが小林くんの引きの運の強さだと思えます。  
あとここでは書けない面白い話が有りすぎるのも彼の魅力です。

末本さんへ 五十嵐嘉紀

拝啓 末ちゃん？あなたとは、はるえイッチョライでんすけ祭りの実行委員での関わりからの縁で仲良くさせて頂いたことを思い出します。あの当時、仕事が終わってから週2〜3回は深夜まで企画を練っていたことがなつかしいです。YEGにおいても、その人柄というか、既に多くの仲間との接点が築けていた様です。若いメンバーの勧誘、大村君は委員長になりました。悩んでいるメンバーへの鼓舞、目立ちました。私にはそんな末ちゃんの姿、きちんと見てました。とても素敵でした。そして、夜のマイクパフォーマンス、これは絶品でした。私にこの原稿依頼が来た時、その模様を動画にて観ていたことと思いましたが、本人の強い反対もあり・・・何はともあれ、末ちゃんとは私、家が50Mしか離れていないこともあり、これからは、深い処のみのおつきあいをさせて頂ければ幸いです。ありがとうございます。

愛しの園君へ 小林 満只

私の口車に乗って、YEGに入会してくれてありがとう。出かける理由ができた？(笑)  
YEGの時は、いつも僕を迎えに来てくれてありがとう。でも帰りは別々だった、何故(笑)  
ずっと同じ委員会だったよね  
貴方のお弁当を見る目が熱かった(笑)

二人の相談事は、いつもの喫茶店でいつもの席だよ。ね。お店のおばちゃんも仲良し♥だよ(笑)  
僕が旅行中に、ホテルでバツタリ会ったよね  
ビツタリするから家族旅行の行程は事前に教えて(笑)  
YEGも無事に卒業！旅立ちだね。次どうする？(笑)  
これからは僕から巣立って、次のステージでご活躍ください(「」) Manより

中村さんへ 福田 智司

中村さんとはFP協会という団体で知り合い、10年以上の付き合いがあります。その当時から、頼んだこととはにかく引き受けてくれました。

YEG入会もそうです。YEGという団体があって個人事務所だから入ってみるといいよ、という話をしたら、二つ返事で入会です。それからの中村さんの素晴らしいさは会員全員が知るところです。また、27年度スタート時には私の退会により、急きよ副委員長をお願いすることになりました。突然だったにもかかわらず、二つ返事で引き受けてくれました。中村さんには、年の功だけではない器の大きさがあります。

YEGは卒業ですが、付き合いはこれからも続きます。また頼みごとに行きますので、よろしくお願ひします。お金の頼みごとはしませんので、安心してください(笑)  
まゆみちゃん、ご卒業おめでとうございます。

久野大統領！へ 大村 亮輔

ご卒業おめでとうございます。  
私が入会して一年目は委員長として、二年目は40周年記念事業の受付リーダーとして、今年度は副委員長として、各事業のポイントや押さえておくべき部分、YEGのイロハを教わりました。本当に、ありがとうございます。次年度委員長は、全員久野チルドレンです！久野さんの熱いYEG魂が伝わったのではないのでしょうか？みんな、まだまだ教わりたい事がたくさんあると思いますが、今まで教わったことを胸に、これからは自分達で頑張っていきたいと思えます。改めて、ご卒業おめでとうございます！！

松岡さんへ 今井 順也

松岡さんとのYEGの思い出はたくさんあります。私が入会した平成18年に松岡さんからお電話があり、初めて次年度副委員長のお声かけを頂いたことが特に印象に残っています。新入会員だった私には難しいと思いましたが、「今井ちゃんと伊藤洋一さんが副委員長をする条件で委員長をやることにした」と仰って頂いたことでYEGに居場所ができたように思います。

卒業生特別企画

また、昨年度は私が委員長をした委員会で25名の方に3分間プレゼンをして頂きましたが、その中で唯一スライドを使わずに言葉だけでプレゼンを行い、最も高評価を得たのが松岡さんでした。松岡さんの言葉には重みと説得力があり、それがYEGや仕事の場で生かされていると感じます。今後も益々のご活躍をお祈りしています。

松田さんへ

村田 真一

現役最年長で頑張っていた松田さん。みんなのアイドルでしたね。

あなたが一言しゃべることに笑いが起きる…そんな人初めてでした。みんなをなごませるあなたの笑顔は福井YEGの癒しでした。時々破天荒なあなたも大変魅力的でした。

そんな松田さんもついに卒業されるのですね。後輩一同寂しく思います。普段はとても実直、もとい頑固なあなたは自分の思いをせきさらに語られました。安心してください。あなたのフロンティアスピリットは後輩一同が継承しつづけます。あなたが語っていた、とにかく明るい福井YEG…これからも継承します。

最後にYEG現役の間に結婚するというあなたの夢、実現しなくて大変残念です。卒業後運命の人と出会えることを後輩一同切に願っています。

見谷さんへ

山田 祐司

見谷さんには、本年度、私が委員長を務める総務・渉外委員会、副委員長になっていただきました。

副委員長になってもらったきっかけは、前年度、見谷さんが総務・渉外委員会で活動した際、深く関心を持ってもらい自らの立候補してもらったことです。

そのような積極的な姿勢は、見谷さんに主に担当していただいた定期総会やスタッフジャンパー作成、近畿ブロック大会参加、会員大会参加などの事業でも十分に発揮されており、委員長として頼もしく思っていました。

見谷さんが、YEGを卒業されるのはさみしいですが、これからも末永いお付き合いをよろしく願います。

武曾さんへ

岩田 純一

ご卒業おめでとうございます。武曾さんとは唯一の旅行業種の会員ということで、私自身、自分の会社以外の同業者との交わりというのが初めてで、すごく刺激を受けました。総務の委員会においても、海外研修や全国大会の行程の話し合いのなかで、自分にはない考え方やアイデアをお持ちで、さすがと思うことが多かったです。今後も情報交換を行いながら、せっかくなできた繋がりを活かしていければと思います。武曾さんの今後ますますのご活躍をお祈りしております。ありがとうございます。

鷺田さんへ

玉村 訓大

ご卒業おめでとうございます。コメントの依頼がありYEGでの経歴を確認させていただいた所、副会長を3回務められておりましたので各年度の会長より一言いただきました。

平成20年度 堀田会長より

「ご卒業おめでとうございます。派手さはありませんが実直に職務を全うしていただきました。豊富な経験を活かされ、益々のご活躍をお祈りいたします。」

平成22年度 山本会長より

「ご卒業おめでとうございます。見た目のとおり優しさがあり、いつも相談にのっていただき有難うございました。今後も益々のご活躍を期待しています。」

平成23年度 宮本会長より

「ご卒業おめでとうございます。常にマイペースで淡々と業務を遂行してくれる頼もしい副会長でした。今後の更なるご活躍を祈念致します。」  
13年間のYEGライフお疲れさまでした。



山口さんへ

山岸 範之

小さな頃からエースで4番。いつも人の輪の真ん中にいるネジさん。お調子者で、お酒が好きで、多趣味多才。どんな話題でも、初対面の人とでも、話を合わせて知らぬ間に輪の真ん中に。なんでも知っているかのように話すネジさん。『どこまで本当でどこから嘘かわからない。』でも、口癖は、「嘘は言っていないやん〜」確かに嘘は言っていない。小さな話を大きく大きく膨らませただけ。

平成27年度はわざときつい口調で嫌われ役を買って出たネジさん。その言葉の裏には青年部を愛する気持ちが溢れていました。

その気持ちを引き継いで1人でも多くの会員に青年部の良さを伝えていきたいと思っています。

全国大会に行く電車の中でこの文章を考えています。ネジさんまた、大きな声で喋ってる。皆、眠たいの。。。笑

宮本武殿へ

高木 秀樹

ご卒業おめでとうございます。と言いたるところですが寂しい気持ちでいっぱいです。

私が青年部に入会してから約15年いつも一緒に活動してきましたね。

全国会長研修会ふくい会議の時は入会したばかりで、右も左もわからずに走り回ってましたが、優しく時には厳しく指導していただきました。

ブロック大会や全国大会では毎回いろんなドラマを経験しましたね。

YEG活動で経験したことは一生忘れることのない大切な思い出であり財産です。

私が会長を引き受けさせていただいた時は直前として支えて頂いたことから多くのことを学ばせていただきました。よく相談事を聞いてもらいましたね。船の上で釣りをしながら。

YEGは卒業となりますが、私は相談事がたくさん出てくる予定なので、また船の上で聞いてください。春は真鯛、シーバス、夏はマイカ、アジ、秋はアオリイカ、ブリ。

みやちゃん、本当にお疲れさまでした。これからもよろしく！

平成27年度委員長コメント

郷土・愛する委員会



委員長  
勝見 泰久

平成27年度郷土・愛する委員会の委員長を務めさせて頂きました。「地域の活性化は郷土を愛する心から」をスローガンに活動させて頂きました。

我々の委員会では「ふくい春まつり参画」「お堀の灯り参画」「フェニックス祭り参画」「まち歩き事業」「1月度オープン例会」を担当、個々の事業においてどのような形にしたら郷土愛を育む事が出来るのかを一年間、委員会メンバーと共に考えながら進めてまいりました。

フェニックス祭りにおきましては昨年度からの継続事業となり、たくさんの園児や保護者様等に楽しんでいただきました。園児たちが自ら装飾したお神輿を担ぎ、元気いっぱい笑顔でパレードしている姿を見たときには、本当にやって良かったと思えました。

まち歩き事業においても新たな団体と協働の開催も含め4コースを開催しました。1月度オープン例会では公民館関係者の方や地域の若手をお招きし、これからの各地域のまちづくりについて話し合いました。

様々なプレッシャーの中でしたが、福井県民のみならず郷土を愛する心を育むきっかけづくりは出来たのではないかと考えております。

当初柴田副会長に委員長を打診された時には、正直私には無理と思いましたが、これが間違いでした。みなさんにご迷惑をおかけする事もありましたが、みなさんに支えられ委員長職を務める事が出来ました。

最後になりますが、委員会のメンバーは最高でした！ありがとうございます！

拡大・成長委員会（新入会員）



委員長  
中川 知士

平成27年度拡大・成長委員会（新入会員）の委員長を務めさせて頂きました。

「YEGを知り、YEGを愛し、YEGと共に成長しよう」をスローガンとして掲げ、1年間全力で進んできました。いろんなプレッシャーもあり、空回りしていた時もあったかもしれませんが、

（笑）。そんな中でも新入会員のメンバー一人一人が、しっかりと委員長の想いを胸に刻んで、行動していただけたのではないかと考えております。

「ラブ&パッション」は委員会メンバーの心に常にあり、これから先も消えることはありません。年度バラバラな委員会に配属されますが、「L&P」旋風は巻き起こし続けると思っております。

メンバーの皆さん、次年度も頑張ってください！拡大について、前期10名、後期10名という目標を掲げていましたが、残念ながら達成できませんでした。しかしながら、年度当初から進んでいたYEGリーフレットを作成し、そのリーフレットのおかげで入会されたメンバーもいるという事に嬉しさを感じております。

会員拡大は今後の必須な課題でもあります。全会員で挑んでいかなければならないと感じております。

最後になりますが、本当に自分自身勉強させていただいた1年間、成長させて頂いた1年間でありました。副会長はじめ、強力な副委員長達にサポートしてもらい、さらにはフレッシュユナ委員会メンバーに支えられ、突っ走ってこれました。心から感謝いたします。そして、当委員会の事業を温かい目で見守ってくれたYEG会員の皆様にも感謝いたします。本当にありがとうございます。

総務・渉外委員会



委員長  
山田 祐司

平成27年度総務・渉外委員会委員長を務めさせて頂きました。

今年度は福井YEG会長記事、福井YEGジャンパー、卒業生幟旗と3つ新たに提案させて頂きました。デザインにつきましては、全会員よりデザイン案を頂き、投票にて決定させて頂きました。

さて今年度は4月定期総会から9つ事業を行ってきました。7月例会、以前は三地区交流会でしたが、今年度より名称が変わりYEG交流会として、鯖江YEGと例会を通して交流を深めました。県内であつてもなかなか交流を深める機会が少ない中で、貴重なひと時を過ごしました。新入会員オリでは、各テーブルに分かれた新入会員と既存会員で、今後青年部で行ってみたい事業について新入会員より様々なアイデアを出していただきました。近ブロでは23名で行って参りました。前日福井YEGから数名

飛込み登録で、なんと主管和歌山県連の登録目標を達成に導くことができました。当初は海外研修が事業に組み込まれていましたが、候補地に挙げていましたバンクコクにて事件が起こり急遽取止めに、無念の思いで会員に報告させて頂きました。12月1月は平成32年度の全国大会誘致についての考える会を2回、臨時総会を行いました。福井YEG歴史上初の臨時総会、貴重な経験をさせて頂きました。

最後になりますが、1年間つたない委員長を支えてくれた副委員長、指導して頂きました山岸副会長、過酷ながらも就いてきてくれた委員会メンバー、本当に感謝致しております。誠に有難う御座いました。

平成27年度委員長コメント

キャリア推進委員会



委員長  
吉村 哲一

うございました。

初めての委員長を拝命してから、自分に務まるだろうかという不安からのスタートでした。

しかし、佐々木副会長をはじめ頼もしい副委員長の間々と素晴らしい委員会メンバーの皆様のおかげで、1年を乗り切ることが出来たと思っています。

5月例会では、当福井YEGにおける「アントレ・キッズ」の再認識と、「未来ビジョン宣言」「提言書」に沿ったキャリア教育の理解を深める事が出来ました。

そして、えきまえアントレ・キッズでは新たな取り組みとして、新規店舗の参加拡大と店舗ごとの独自報酬という展開をみせ、また学生ボランティアも大勢の参加協力を頂き、これまでキャリア教育に触れていなかった方々にもより広く知ってもらう事ができました。

さらには、福井YEG独自のキャリア教育事業を築きあげ、県下7単会のYEGが集結し、単会の枠を超えてヨコのつながりを生かしたキャリア教育の次のステージへの進化をみせました。

また、今年度は通常のアントレ・キッズもいろいろと、これまでの検証にも着手しました。アントレ・キッズ自体も今年度は3つの小学校でPTA独自に開催するなど、着実に広がっており、注目度は高まる一方です。

これらの素晴らしい事業に委員長として携わる事が出来、様々な経験をさせて頂き、例会や、事業の際に感謝やお褒めの言葉を頂く度に、本当に嬉しく、とても充実した1年でした。

副委員長をはじめ委員会メンバーに助けられ、

キャリア教育推進委員会の委員長を務めさせて頂きありがとうございました。

支えられ、楽しく学ぶ事が出来た1年でした。この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ビジネス活性化委員会



委員長  
大村 亮輔

平成27年度ビジネス活性化委員会では、「営業力・宣伝力強化」の目線で会員の資質向上と地域活性化という委員会スローガンの基、4回の例会（オープン例会を含む）と新規事業として、「ふくい」会社デカラ取材班」を5コース行いました。

まず6月例会では全ての基礎となる「マナー」を学び、10月オープン例会では「宣伝力・発信力」、11月例会では「相手の課題ニーズの発見力」、2月例会では今までに集大成として「自己分析力・相手の課題ニーズの発見力・発信力・他己分析力」を学びました。そして、「ふくい」の会社デカラ取材班」では、「株式会社 オールコネクト」「株式会社 ヤスブシ」「株式会社 タツセイ」「ユニフオー ムネクス株式会社」「清川メッキ工業株式会社」の5コースで、実際に訪れ体感し、様々な実践事例から「気づき」を得て、持ち帰り、自ら実践する機会を創出しました。

初めての委員長で右も左もわからず迷走しかけていましたが、経験豊かな副委員長をはじめとする委員会メンバーに支えられ、そして、多くの意見を頂きながらとても内容の濃い事業が行えたと思っております。

最後に、未熟な委員長を支え、叱咤激励してくれた委員会メンバー、そして、例会にご参加頂いた皆様、自身の商売では経験できない事に挑戦する機会を与えて頂いた福井YEGの皆様、本当にありがとうございました！



### 平成28年度会長抱負



平成28年度スローガン  
Just Do It YEG  
～あくなき挑戦～  
平成28年度会長  
山岸 範之

平成16年5月に福井YEGの門を叩いて早12年。福井に来た当初は家と会社だけを往復する日々を過ごしていた私。冬は寒く、太陽は隠れ、テレビも写らず、凍える日々…(少し大げさか)。しかし、そんな私に「楽しさ、苦しき、汗、涙、感動」を教えてください、そして、この福井に居場所を作ってくれたのがYEGでした。YEG活動を通じて多くの人と巡り会い、事業を構築し、色々な経験をしたことが今の私の大きな財産です。そして、このYEGの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えて行きたい。

平成28年度スローガン、「Just Do It YEG」あくなき挑戦～には、「YEGは挑戦する団体である」という意味が込められています。「挑戦」が全て「成功」に結びつくとは限りません。しかしながら、「挑戦」しなければ「成功」はありません。YEGは失敗することに否定的な団体ではありません。前向きに挑戦し、失敗を恐れずに様々な事に挑戦しよう！

また、YEG活動はお金のためにやっているものではありません。自己成長は勿論のこと、地域の発展、地域の人々や子供達の笑顔のために活動しています。そして、失敗を恐れず挑戦しつづける団体。まさに、YEGは、子供の頃に夢見た「ヒーロー」そのものであると考えます。我々は大企業ではありません。中小零細の親方衆を中心とする集まりです。一人一人の力は小さいかもしれないが、会員同士が繋がり、力を発揮することによって大きな存在感を発揮します。一人一人が小さな町のヒーローであるという意識を持って、そして、YEGメンバーであるということに誇りを持って青年部活動をしよう！！

平成28年度、どっぴりYEGにつかりましょう！！

### 平成28年度委員長コメント

#### ビジネスストライ委員会



委員長 達川 竜司  
平成28年度、ビジネスストライ委員会の委員長を務めさせていただきます。達川です。

平成28年度は、「Just Do It YEG」あくなき挑戦～という、山岸次年度会長のスローガンを基に、YEGの活動の源は自社の経営が順調である事！が大原則であるという思いを胸に刻み、経営に特化した例会に1年間TRYしていこうと思います。

会員みんなが勉強出来て、会社経営に役立つ事は何か？をベースに、理論から実践、そして結果へと結び付け、自己研鑽していける様になりたいと思います。年間6回の例会と、昨年度からスタートした会社デカラ取材班を二本柱として、少しでも多くの事を吸収して今後のYEG活動を楽しく、有意義なものになる様、委員会メンバー一同で頑張っていこうと思います。マインドを鍛え、発想力を豊かにし、アイデアをまとめて伝える力を養い、売上やコストマネージメントを考えるなど、如何にして会社の利益を上げる事が出来るかを目標にして、参加者の皆さんの会社経営が今まで以上に順調にやっけていけるように知恵を振り絞っていこうと思います。

入会三年目で委員長という大役を仰せつかり、不安と緊張でいっぱいですが、皆さんの力を借りながら、一年間委員会メンバーと共に話し合いながら、力いっぱい挑戦して行きたいです。参加しないともったいないっ！と思ってもらえる様な、そんな委員会にしていこうと思っておりますので皆さん、どうぞよろしくお願いします。

### 人財育成委員会



委員長 藤田 清彦  
平成28年度「人財育成委員会」の委員長を務めさせていただきます。藤田清彦です。どうぞ宜しくお願い致します。

経済のグローバル化やインターネットの普及に伴う社会変革により、企業が求む人材の知識・資質・技能が高度化しています。地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力として、失敗しても粘り強く取り組む力、新しい価値を生み出す力、目標に向けて協力する力等を意識的に育成することが必要です。

当委員会では、このまちに住む子供達の郷土愛を育み、将来の我がまちを背負う人財を育成すると共に、YEGメンバーが、地域を牽引し青年経済人だからこそできるキャリア教育の構築を行っていくことで、自信と誇りを持ち、我々自身も魅力ある人財へと成長することをミッションにしたいと思います。

今年度、「人財育成委員会」は、新しいキャリア教育事業の構築を行い挑戦してまいります。県内外から高い評価を頂いている「アントレ・キッズ」事業は変革、進化を遂げ新しいステージへと進んでまいります。

「SOC」S失敗を O恐れず Cチャレンジする委員会！皆様の温かいご支援とご協力を何卒宜しくお願い致します。

平成28年度委員長抱負

まちひとめぐり委員会

委員長 田中日奈子



平成28年度まちひとめぐり委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました田中日奈子です。どうぞよろしくお願ひ致します。

この一年は、まちをめぐり・ひとにめぐり会うことで自身が一歩成長出来るような委員会にしていきたいと思ひ、委員会名を付けさせて頂きました。

「まちづくり」という言葉が多用される昨今、では何がまちをつくるのか? と考えた時に、やはり要は「ひと」だと思ひます。まちには様々なひとが居て、考え方や想ひも十人十色です。世代を超えて老若男女、色んなひとに出会うことが自身の形成や成長のきっかけに繋がるのだと感じております。

まち系委員会は、地域の方々や他団体の方々、そしてYEGメンバーの方々の力が合わさることとで事業が成り立つことが殆どです。事業の一つ一つに向き合うことで、ひとにめぐり会い、まちをめぐることとでまちを知って、自分達の「まちづくり」が出来ればと思ひます。

今までの事業を踏まえながら、委員会メンバーの皆さんと共に新たな一歩を踏み出していきけるよう精一杯精進させて頂きたいと思ひます。至らぬ点もあるかと思ひますが、一年間どうぞよろしくお願ひ致します。

次世代成長委員会

委員長 坂口 雄介



平成28年度次世代成長委員会の委員長を務めさせて頂いたべくことになりました坂口雄介です。

新入会員所属の委員会という事で、委員長として何をすべきか、何が出来るか考えてみました。それは、「基本」を徹底して学び合う委員会にしていきたいと考えております。

過去福井YEGの偉大な先輩方は今に受け継がれるアントレキッズやまち歩きのみならず、福井の活性化に向けた数多くのビジョン・事業を実施して参りました。なぜそれらを成し遂げることができたのか。そこには「先導者としての志」があり、そして「同じ志を持った仲間」がいたからではないでしょうか。

その志とは、商工会議所青年部の歌「のびゆく大地」そして綱領・指針にしっかりと謳われています。今後のYEG活動に生かしていくために、入会初年度にまずはしっかりとこの基本を身に着ける一年としていきたいのです。(私も含めてですが。)

福井商工会議所青年部には、年間たくさんの方々の事業があります。その全ては各委員が幾度となく協議を重ね、考え抜いた事業です。新入会員として、まずは様々な事業を体験し、感じてほしい。そしてとにかく楽しんでほしい。

次の時代のYEGとして福井を先導していく次世代の人材になるべく、互いに成長できるような委員会へ。そんな願ひを込めた次世代成長委員会です。

初めての委員長ということ、分からないことばかりで不安ではありますが、みなさんのご協力も頂きながらしっかりと地に足をつけて、副委員長そして新入会員のみなさんと共に、楽しく思ひ出に残る委員会となるよう頑張つて参りたいと思つておりますので、一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

総務・渉外委員会

委員長 清水 孝行



平成28年度総務・渉外委員会の委員長を務めさせて頂いたいただきます清水孝行です。初めて経験する委員長であり、また総務・渉外委員会の所属

も初めてということ、分からないことも多く、副委員長やフロアメンバーを始め、多くの人の助けを借りて一年を乗り切りたいと考えております。

さて、総務・渉外委員会は、総会や役員会の運営、外部団体との折衝、及び会員の入会・退会等、福井YEGの根幹に関わる内容の業務を担っております。したがって、総務・渉外委員会が上手く機能しなければ、福井YEGの運営に大きな支障を与えることとなり、会員の皆様はこの不利益につながってしまいます。当委員はこのようなことが無いように、当たり前のことを当たり前にこなし、これまでより一歩でも質の良いものを目指し、会員の皆様に参加しやすく、交流を深めることができる福井YEGの構築を目指していきたいと思ひます。

また、福井YEGは、平成27年度に相当数の会員が卒業された関係から、本年度は例年よりも会員数が減少した状態でのスタートとなります。今年度、相当数の新入会員を獲得しなければ、福井YEGの力が落ち込むことは必至です。会員拡大のための努力は各委員会、ひいては会員一人一人に求められるものではあります。総務・渉外委員会が危機感をもって会員拡大を引っ張っていきけるよう挑戦していきます。

最後になりますが、平成28年度、福井YEGを足元でしっかりと支えられるよう、委員会全体で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



★平成28年度 福井商工会議所青年部 組織図★



新入会員紹介

・新入会員紹介・



有限会社いとう印刷

伊藤 翔平

YEGに入ってから約1年がたち思うことは普段の仕事では出会わない方との交流ができ、また色々な体験ができるとても貴重な1年間となりました。  
これからも精一杯頑張っていこうと思っておりますので、ご指導を宜しくお願い致します。



福井テレビ営業局営業部

前田 仁

皆様、新入会員の前田仁と申します。  
大学・社会人約15年を県外で過ごし、約10年前に家族とともにUターンで戻ってまいりました。  
県外をしばらく見ている分、福井の「幸せ度の高さ」を日々実感しております。

これから、国体、新幹線等、明るいイベントが控えておりますが、「福井を元気に！」の気持ちを日々忘れることなく、今後も精進していきたいと思っております。  
今後とも、引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。



カイロオフィスY.O.U癒佑

高嶋 涼子

整体やカイロプラクティック、ネイル、エステを行うカイロオフィスY.O.U癒佑の代表を務めております高嶋涼子と申します。

昨年に入会させていただきましたが、まだまだ分からないこともありませんが、今後も事業や例会、委員会に参加するようにして、青年部の活動に積極的にかかわっていききたいと思っております。よろしくお願ひします。



有限会社東栄ルーフ

小倉 大輔

当社では、日本伝統である屋根の瓦工事、雨漏り専門の調査サービスを展開しております。

YEGに入会して2年目になりましたが、まだ分からない事も多く1人の社会人としても青年経済人としても学ぶ事が多い私ではありますが、まずは自分が活動を楽しみ地域の為、YEG発展の為、自分自身の成長の為に貢献できたらと思っております。宜しくお願いします。



福井精米株式会社

樋田 光生

この度、新入会員として末席に加えさせて戴いた福井精米の樋田です。YEGの活動を通じて、事業の中で地元福井に貢献できるモノ・きっかけを掴めればという思いで参加させて戴いております。個人的な話ですが、首都圏に約10年・関西圏に1年強住んでいた経験を活かし、少しでも会のお役に立てることができればと考えております。これからよろしくお願ひ申し上げます。



三井住友海上火災保険(株)

近藤 友則

27年4月に入会致しました。昨年度は駅前アントレキッズやフェニックス祭りなど様々な事業に参加し、大変貴重な経験をさせて頂きました。

28年度ではキャリア教育委員会の副委員長という大役を拝命致しました。

何かと未熟で皆さまにお手数おかけすることと存じますが、ご指導仰いで精一杯努力致しますので何卒宜しくお願い申し上げます。





有限会社三ツ徳不動産  
**岩口 祐樹**

平成27年11月よりYEGに入会させて頂き、例会や委員会に参加することで福井YEGの様々な活動により興味を魅かれました。今後も積極的に参加させて頂き、自身のスキルアップを目指し、より福井YEGの活動に貢献できるように研鑽致します。



蕎麦 Dining 一福  
**山内 魁**

私は昨年の6月に入会させて頂きました。まだまだ未熟者ですがこれからのYEG活動を通して、多くの人と交わり・学ばせていただきながら青年経済人として福井の発展に貢献できる人材に成長して参ります。宜しくお願い致します。



スタッフマネージメント(有)  
**山村 直主**

新入会員から早一年、訳も分からず無心で事業に参加しました。皆んなで知恵を絞り、形にして、実行する。失敗を怖れずに挑戦し、共に感動を経験出来るYEGに感謝しています。これからも宜しくお願いします。



福井放送営業局テレビ営業部  
**影 遼太**

平成27年4月に入会し、拡大・成長委員会で活動させて頂いておられます。例会・委員会への出席率が高くないため、ご迷惑をおかけしていますが、福井で活躍されている先輩方の勢いに毎回刺激を受けております。

来年度もラブ&パッションの精神を大切に、より一層積極的に参加し、福井を盛り上げて参りたいと思います。



株式会社 トウエルブ  
**下野 護**

YEGに入会させて頂いてから、全ての事業に参加出来るわけではありませんが、YEG活動を通じて得た経験や、様々な業種の方々と交流して学んだこと、そしてYEGで知り合った仲間との繋がりは、自分の仕事である広告のデザインをする上で、確実に「力」となり自分自身がスキルアップしていつていくという実感があります。

これからもYEGとともに成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



税理士法人合同経営会計事務所  
**森近 泰富**

今年度の4月よりYEGに入会させて頂きました。今年度のYEGの活動及び会議等に参加する事が出来ませんでした。

来年度こそは積極的に参加し、YEGの活動を通じていろいろな方との交流をすることにより自己のスキルアップに努め、地域社会の活性化に少しでも貢献できるように活動させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。



行政書士法人坪川事務所  
**大平 泰宏**

福井市内で行政書士をしています。当事務所では、法人設立から外国人関係まで幅広く取り扱っています。併設している、社労士事務所と連携して依頼主様をサポートさせて頂いております。

YEGに関しましては、入会してからの数ヶ月を通じて、段取りやチームでの連携や姿勢といったものを学ばせていただきました。

私も、自分の受けた素晴らしい影響を沢山の方々に発信していけるように、成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。





### あじさい会通信



昨年度、会長に選出された吉岡です。総会では、より情報伝達円滑化のため役員数を増員、事業として2年に一度の研修旅行を明治日本の産業革命遺産「軍艦島」にすることが決定しました。

昨年11月1日、参加者8名は長崎港から船で出発。まず三菱重工の戦艦武蔵を建造したドックや100年以上上活躍する150tクレーン、さらに建造中の豪華客船が目に見え込こんできました。産業の歴史が伝わってきます。軍艦島が見えてきました。海が荒れると着岸できないとのこと。今回は運良く上陸。小さな島にコンクリート建造物が要塞のように建っています。ピーク5000名以上の方が生活し、石炭を掘り出していたのです。その光景が目に見えます。まさに著しく発展した日本の産業の幕開けを飾った一つだと肌で感じます……。

商工会議所青年部も、数人で発足してから40年余り。あじさい会は軍艦島、あくまでも歴史を感じ取ってもらえばOK。応援はいつでも駆けつけます。後は会員相互、切磋琢磨し、商工業の発展、社会貢献に寄与し、さらなる発展を期待しています。

1. 結婚日：
2. 配偶者のお名前（ふりがな）
3. なれぞめ：
4. 相手の呼び方（夫婦各々）：
5. ひと言（夫婦各々）：

### 結婚おめでとう



澤田 拓也 会員

1. 平成 27 年 3 月 26 日
2. 久美（くみ）
3. 飲み会にて
4. くみちゃん、たくやさん
5. よろしくお願ひします。



山口 広征 会員

1. 平成 27 年 4 月 24 日
2. 順子（じゅんこ）
3. 芋焼酎の会で…こんなにお酒が強い人は…（お互い）
4. ネジさん、じゅんちゃん
5. 多忙な時間をこなせるのは周りの人の協力のおかげ！感謝しています。広征二人の時間が合う時の晩酌の時間がとても大切なひと時です \*^^\* 順子

こんにちは  
赤ちゃん



安田 圭介 会員

誕生日  
平成 27 年 4 月 14 日  
お名前  
安田 桃花（ももか）  
ひと言（赤ちゃんから）  
お姉ちゃん大好き

### 西木田通信

とても頼りになる方の事務局の高山は、この原稿を書いている現在非常に忙しいため、もう一人のちよっと頼りない方の事務局の朝井が代表してこのコーナー書かせていただきます。

さて、早いもので今年度も終わろうとしています。私事務局を担当させていただいて、2年が経ちました。その間、役員会から例会をはじめ様々な事業に関わらせていただきましたが、青年部の印象は未だに一番初めに感じた「すごい！」から変わっていません。

昼夜休日問わず自己研鑽、地域貢献にと自ら動いて熱心に活動されている姿を見ると、今年度の森下会長のスローガン通りに一人一人が成長しており、同時に青年部という会も日々進化していると事務局ながら感じていました。

そしてこんな頼りない私が事務局として続けてこられたのも、そんな素晴らしい青年部の皆さんに支えられていたからだと思わずながら感じていきます。

青年部の熱意、行動力をお手本に、私も今後さらに成長できるように頑張っていきます。

本当にありがとうございました！

